

年度評価シート

課名 スポーツ振興課

施設の名称 静岡市中央体育館、静岡市南部体育館、 静岡市長田体育館、静岡市東部体育館、 静岡市北部体育館、静岡市蒲原体育館、 清水清見潟公園（体育館、室内プール、 トレーニング室）	指定管理者名 公益財団法人 静岡市体育協会														
<p>1 履行状況</p> <p>業務仕様書及び事業計画書に従って適切に履行されている。</p> <p>(1) 維持管理業務</p> <p>各施設とも、施設管理業務、施設利用許可等に関する業務、利用者へのサービス提供に関する業務を実施し、建物等の維持管理業務について、一部を第三者委託により実施し、各業務とも事業計画に従って適切に行われている。</p> <p>施設設備等の維持管理業務については、適切な維持管理が行われており、必要に応じて担当課と協議を行い、利用者の安全・安心を重点におき、迅速な対応がとられている。</p> <p>各施設の主な修繕業務は以下のとおりである。</p> <table border="0" data-bbox="295 1187 1141 1489"> <tr> <td>ア 中央体育館</td> <td>防火シャッター修繕</td> </tr> <tr> <td>イ 南部体育館</td> <td>卓球場照明器具取替修繕</td> </tr> <tr> <td>ウ 長田体育館</td> <td>多目的室ブラインド取替修繕</td> </tr> <tr> <td>エ 東部体育館</td> <td>卓球場間仕切り引戸修繕</td> </tr> <tr> <td>オ 北部体育館</td> <td>トイレ排水トラップ取替修繕</td> </tr> <tr> <td>カ 蒲原体育館</td> <td>ウォータークーラー設置修繕</td> </tr> <tr> <td>キ 清水清見潟公園</td> <td>トレーニング室天井換気扇取替修繕</td> </tr> </table> <p>(2) 施設利用者数</p> <p>令和元年度の施設利用者数は、全体で779,066人（一般:509,996人、生徒等:269,070人）となっており、目標値である890,003人（中央299,364人、南部116,110人、長田109,682人、東部101,868人、北部159,993人、蒲原19,045人、清水清見潟83,941人）には満たなかったが、前年度の768,878人と比較し1.3%増加した。</p> <p>3月3日から3月31日までの間、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の一環として、トレーニング室及び屋内プールを休館した影響により、3月の利用者数は前年度と比較し減少したものの、南部、東部及び長田体育館アリーナの特定天井改修工事が平成30年度中に施工完了し、令和元年度より利用再開（南部及び東部は空調工事施工完了に伴い7月から利用再開）したことが主な要因と考えられる。</p> <p>今後も利用者数の拡大に努め、良好な運営を図りたい。</p> <p>施設ごとの利用者数は以下のとおりである。</p>		ア 中央体育館	防火シャッター修繕	イ 南部体育館	卓球場照明器具取替修繕	ウ 長田体育館	多目的室ブラインド取替修繕	エ 東部体育館	卓球場間仕切り引戸修繕	オ 北部体育館	トイレ排水トラップ取替修繕	カ 蒲原体育館	ウォータークーラー設置修繕	キ 清水清見潟公園	トレーニング室天井換気扇取替修繕
ア 中央体育館	防火シャッター修繕														
イ 南部体育館	卓球場照明器具取替修繕														
ウ 長田体育館	多目的室ブラインド取替修繕														
エ 東部体育館	卓球場間仕切り引戸修繕														
オ 北部体育館	トイレ排水トラップ取替修繕														
カ 蒲原体育館	ウォータークーラー設置修繕														
キ 清水清見潟公園	トレーニング室天井換気扇取替修繕														

施設名	利用者数（人）		
	H30年度	R1年度	前年度比較
中央体育館	289,594	267,926	△21,668
南部体育館	83,757	90,796	7,039
長田体育館	71,208	97,057	25,849
東部体育館	69,495	86,935	17,440
北部体育館	153,474	132,479	△20,995
蒲原体育館	17,340	16,501	△839
清水清見潟公園	84,010	87,372	3,362
計	768,878	779,066	10,188

(3) 事業実施状況

教室等の事業については、概ね事業計画どおり実施されている。全体で定期開催226教室、短期開催46教室を実施し、延べ24,593人が受講した。定員に満たなかった教室については、広報活動や事業内容の見直し等、更なる努力を期待したい。

主な教室の受講者数は以下のとおりである。

ア 中央体育館

- ・やさしいエクササイズ 受講者499人（定員600人）
- ・フィットネス 受講者443人（定員600人）
- ・シニア健康体操（火曜） 受講者458人（定員600人）

イ 南部体育館

- ・エアロビクス&ダンス 受講者220人（定員300人）
- ・やさしいエクササイズ（月曜） 受講者260人（定員300人）
- ・70歳以上の健康体操（火曜） 受講者226人（定員300人）

ウ 長田体育館

- ・姿勢改善（木曜） 受講者423人（定員450人）
- ・70歳以上の健康体操 受講者346人（定員450人）
- ・ストレッチ&エアロビクス 受講者348人（定員450人）

エ 東部体育館

- ・エアロビクス&ダンス 受講者185人（定員300人）
- ・やさしいエクササイズ（木曜） 受講者186人（定員300人）
- ・フィットネス 受講者173人（定員300人）

オ 北部体育館

- ・シニア健康体操（火曜） 受講者328人（定員600人）
- ・初級ヨガ 受講者125人（定員150人）
- ・ラケット種目 受講者112人（定員150人）

カ 蒲原体育館

- ・フィットネス 受講者 78人（定員120人）
- ・シニア健康体操 受講者147人（定員170人）
- ・ラケット種目 受講者 74人（定員 75人）

キ 清水清見潟公園

・フィットネス	受講者112人（定員150人）
・シニア健康体操	受講者200人（定員200人）
・水泳	受講者145人（定員180人）

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

各施設とも、利用者からの意見・要望に対しては適切な対応がとられており、即座に対応することが困難な要望等に対しても、担当課や関係団体等と協議するなど前向きに検討しており、良好な対応がなされている。

今後も、利用者からの多種多様な意見・要望に対して、親切丁寧に対応されたい。

【具体的な意見・要望と対応状況】

① トレーニング場の利用方法について（長田体育館）

意見：トレーニング場の利用者の一部に、機器の使用方法や片付け等のマナーが良くない人がいるので注意してほしい。

対応：利用者に対し、窓口や張り紙等で注意喚起した。

② アリーナの日差しについて（清水清見潟公園）

意見：アリーナ2階からの日差しが強く眩しいので対策してほしい。

対応：ロールカーテンが劣化していたため、遮光性のあるものに更新した。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用者満足度調査

施設利用者及び教室参加者に対して、満足度調査を実施した。

施設利用者満足度調査では、集計増数1,620件中、「大変良い」「良い」という回答が1,521件で93.9%という結果だった。

教室事業参加者満足度調査では、集計総数5,446件中、「大変満足」「やや満足」という回答が5,401件で99.2%という結果だった。

この結果から、利用者にとって有益な施設運営がなされていることがわかる。

(2) 市民アンケート

各施設の認知度、利用状況、興味のあるスポーツなど、市内在住の15歳から80歳の男女1,000人に対し、スポーツ施設に関する意識調査をインターネット上で実施した。各施設の認知度は以下のとおりであるが、総じて認知度が高いとは言い難く、利用者満足度調査の結果に比べ、見劣りする結果と言わざるを得ない。利用者の裾野を広げる事業展開を通じて、認知度の更なる向上に期待したい。

○「施設を知っている」と回答した人数（総数1,000人）

ア 中央体育館	532人（認知度53.2%	昨年度52.4%	0.8ポイント増）
イ 南部体育館	455人（認知度45.5%	昨年度45.0%	0.5ポイント増）
ウ 長田体育館	307人（認知度30.7%	昨年度35.2%	4.5ポイント減）
エ 東部体育館	262人（認知度26.2%	昨年度29.1%	2.9ポイント減）
オ 北部体育館	295人（認知度29.5%	昨年度31.2%	1.7ポイント減）
カ 蒲原体育館	64人（認知度6.4%	昨年度6.9%	0.5ポイント減）
キ 清水清見潟公園	241人（認知度24.1%	昨年度29.3%	5.2ポイント減）

(3) その他アンケート

各施設のロビーに意見箱を設置し、利用者からの意見・要望等を積極的に取り入れるなどして、良好な施設運営に活かしている。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務における収支状況については、適正に執行されており、良好である。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善競技事項の有無	無

施設の維持管理については、各施設とも日常点検の実施により、施設全体の状況を常に把握し、必要に応じて修繕することで、利用者が安心して利用することができる安全で清潔な施設の提供に努めている。

管理運営全般については、事業計画に従い概ね良好に運営されており、利用者からの意見に柔軟かつ迅速に対応するなど、指定管理者制度のメリットを十分に活かしている。新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、感染症予防対策として施設出入口に手指消毒剤を設置し、また、市の要請に基づき、適切な時期に教室の中止や施設の一部休館など迅速に対応した。この際の利用者への周知については、速やかに館内掲示板への掲出やホームページ上で周知を行う等、適切な時期及び方法により実施されている。利用者への利用料金の還付についても、市が示した考え方に則り、利用者の混乱なく実施した。

教室事業については、市が策定したスポーツ推進計画に掲げられている「市民一人1スポーツ」の目標達成に貢献するため、多種多様なスポーツ教室を開催し、教室事業参加者満足度調査では99.2%が満足と回答するなど、良好に実施されていると言える。特に、女性のスポーツ実施率の向上、とりわけ子育て世代のスポーツ参加促進の一助となる託児付きの「ママたちのシェイプアップ教室」や、男性一人でも気軽に参加することができる「男性ヨガ&ストレッチ教室」「男性ヨガ教室」など、ターゲットを絞った教室は利用者の裾野を広げる目的と合致し、創意工夫に富んだ教室と言える。また、人気の高いヨガ教室をさらに参加しやすくするため、1回からの参加も可能なワンコイン（500円）教室や、通常教室前の空き時間に『朝活』と称したヨガ教室を開催するなど、利用者満足度の向上に寄与する教室を実施した。さらに今年度は、ラグビーワールドカップ日本大会が開催される中で、市ラグビーフットボール協会に協力を依頼し、「親子で学べるラグビールール講習会」を開催するなど、ラグビーに対する関心が高まる中でこのような事業を開催したことは特筆すべき点と言える。今後も引き続き、時機を捉えた普及活動の実施に期待したい。

広報活動については、今年度からツイッターやフェイスブックなどのSNSを活用し、教室事業の募集や新型コロナウイルス感染症に伴う利用制限などの情報を発信したことは一定の評価ができるものの、フォロワー数などに課題が残り、有効活用できているとは言い難い。アカウントのPRや発信内容の充実などの改善策について検討し、フォロワーの更なる獲得に努め、施設認知度の向上や利用者数の増加につなげてもらいたい。

体育協会は市のスポーツ振興の一翼を担う団体であり、各種競技団体を統括する体育協会ならではの創意工夫を凝らした事業展開を実施することで、施設の更なる価値向上に励むよう期待する。

